

改正品確法等の効果に係るアンケート
報告書

平成28年9月30日

一般社団法人 全国建設業協会



目次

○調査概要	P. 2
○企業の属性	P. 3
○調査結果		
I. 都道府県建設業協会からの回答		
1. 発注見通しの公表状況	P. 5
2. 予定価格の状況	P. 6
3. 工期設定について	P. 10
4. 入札不調・不落時の対応について	P. 12
5. 発注者の体制について	P. 13
6. 適切な入札契約方式の選択・活用について	P. 15
II. 会員企業からの回答		
1. 工期設定について	P. 16
2. 契約変更について	P. 18
3. 会員企業の現況	P. 22

調査概要

【調査の目的】

改正品確法、同運用指針などの運用開始から1年が経過し、各発注者などにおいても個別の対応が進められているところであるが、これら法改正の効果を的確かつ継続的に測定・評価を行うこと、また、関係機関等へ提言等を行う場合には具体的なデータ(各地の実情等)が必要不可欠であることから、本調査を実施した。

【調査の内容】

改正品確法及び運用指針の趣旨を踏まえ、各発注者において適切な対応がなされているかとともに会員企業の状況について、平成28年7月1日時点と昨年同時期との比較を行う。

【実施概要】

- ・調査日 平成28年6月～平成28年8月
- ・調査対象 47都道府県建設業協会及び会員企業(一部)
会員企業の選定については、各都道府県建設業協会に一任している。
- ・回答数 33都道府県建設業協会(回収率:70.2%)
会員企業 計696社
なお、設問ごとに未記入があるため、回答者数と各設問の合計者数は一致していない。
- ・集計方法 都道府県建設業協会及び会員企業の回答を単純集計
なお、本紙における集計結果の割合については、端数処理の関係上、合計値が100%にならない場合がある。

企業の属性①

【ブロック別】

		実数	構成比
北海道・東北	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	132	19.0%
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野	136	19.5%
北陸	新潟、富山、石川	72	10.3%
中部	岐阜、静岡、愛知、三重	67	9.6%
近畿	福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	93	13.4%
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	73	10.5%
四国	徳島、香川、愛媛、高知	53	7.6%
九州・沖縄	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	70	10.1%
計		696	100.0%

※ブロックは地方整備局の区分(新潟は北陸に含んでいる)

【資本金別階層】

	実数	構成比
1億円以上	107	15.4%
5,000万円以上、1億円未満	175	25.1%
3,000万円以上、5,000万円未満	202	29.0%
1,000万円以上、3,000万円未満	206	29.6%
1,000万円未満	3	0.4%
不明	3	0.4%
計	696	100.0%

企業の属性②

【国土交通省ランク別】

(土木)

	実数	構成比
A	18	2.6%
B	44	6.3%
C	345	49.6%
D	48	6.9%
不明	241	34.6%
計	696	100.0%

(建築)

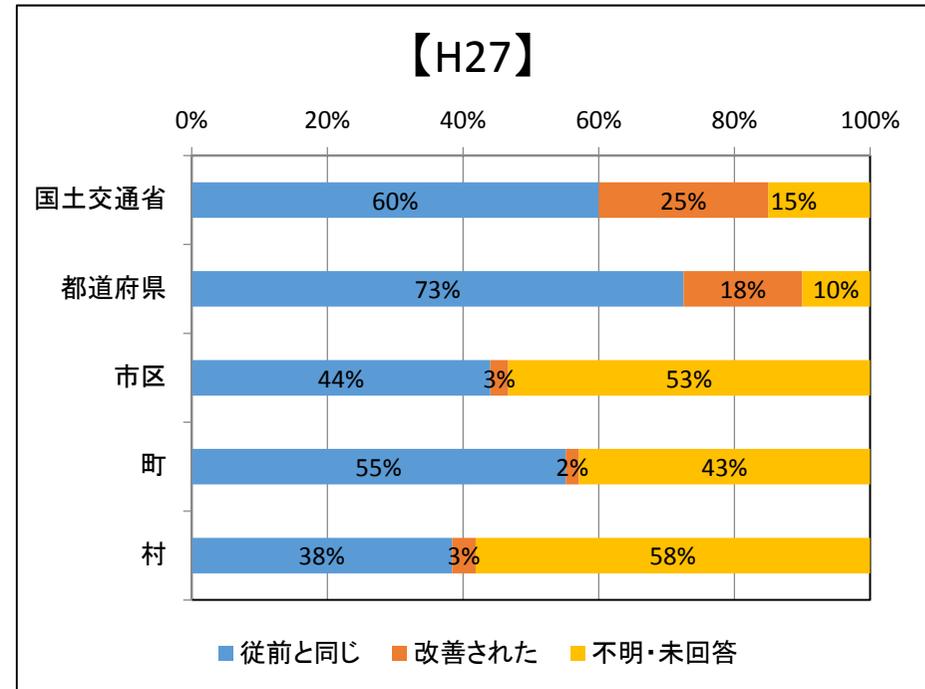
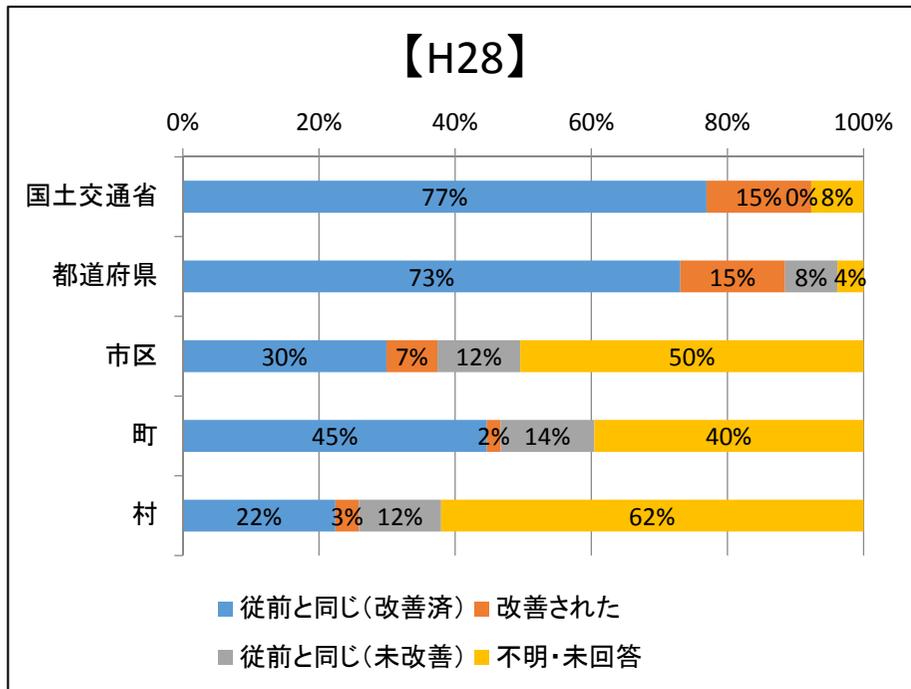
	実数	構成比
A	19	2.7%
B	36	5.2%
C	158	22.7%
D	33	4.7%
不明	450	64.7%
計	696	100.0%

調査結果 I. 都道府県建設業協会からの回答

1. 発注見通しの公表状況

Q1 発注見通しの公表状況は改善されましたか？

○国土交通省は、「従前と同じ(改善済)」「改善された」の合計が9割超となっている。
○都道府県でも、「従前と同じ(改善済)」「改善された」の合計が9割弱を占める。
○一方、市区町村はいずれの区分も「従前と同じ(改善済)」「改善された」の合計が5割を下回り、「未改善」の回答が一定数見られる。



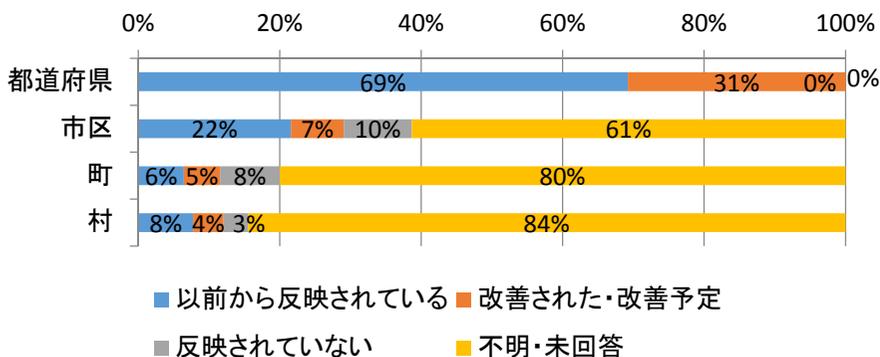
2. 予定価格の状況①

Q2 最新の労務単価、資材等の実勢価格(市場単価を含む)は反映されるよう改善されましたか？

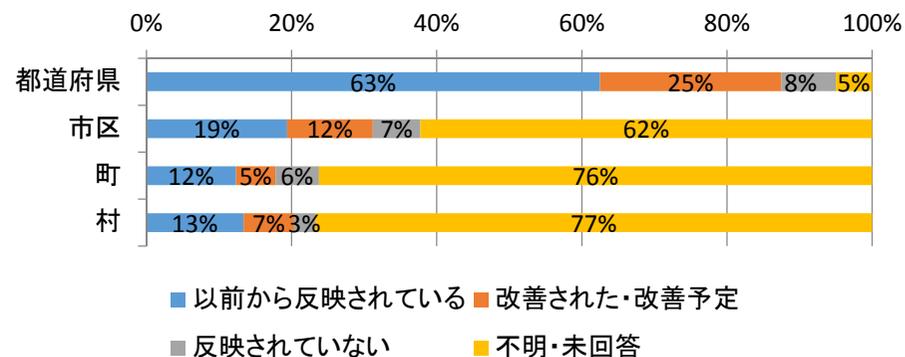
○都道府県は、全ての回答が「以前から反映されている」「改善された」となっている。

○一方、市区町村では、不明・未回答の割合が多いものの、「反映されていない」とする回答の割合が多い。

【H28】



【H27】



(改善内容、意見等)

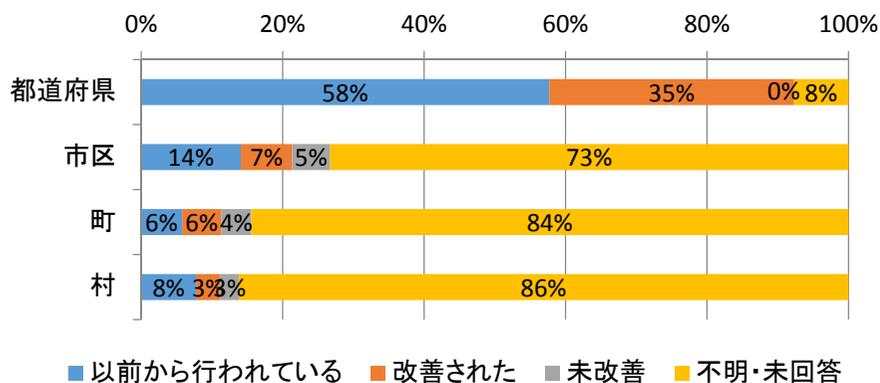
- ・スライド条項が積極的かつ適切に運用されるようになった。
- ・労務単価の反映は迅速になったが、資材等の実勢価格については、まだ適切に反映されていない。
- ・最新の労務単価や市場単価等が県の積算システムに反映され、これを市町村が利用している。市場単価そのものにも実勢価格の反映が遅れているため、労務単価の上昇による市場単価の即時補正など政策的な価格設定が必要である。

2. 予定価格の状況②

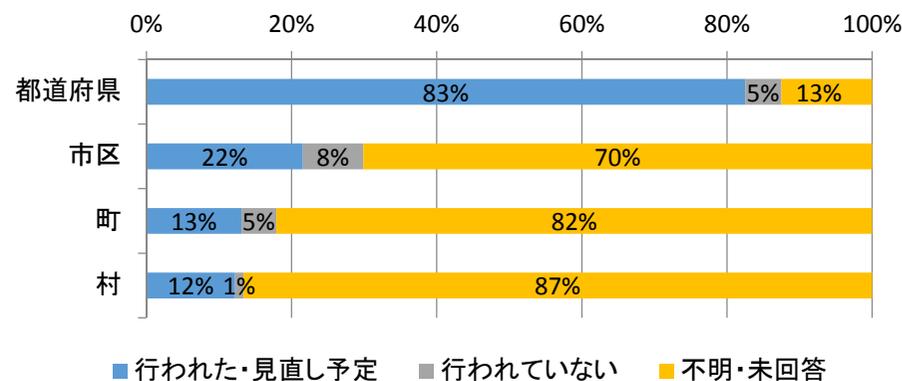
Q3 最新の国の積算基準に基づく見直しが適宜行われるよう改善されましたか？

○都道府県は、「以前から行われている」「行われるよう改善された」の合計が9割を超え、前年に比べさらに改善が進んでいる。

【H28】



【H27】



(改善内容、意見等)

- ・県の積算システムに国の積算基準の見直しが反映され、これを市町村が利用している。
- ・現場状況と積算歩掛りが乖離しており、適正な利益の確保に苦慮している。
- ・改善されたがパッケージ型積算の表内容がわかりにくい。
- ・国の積算基準において、安全費等に実態と乖離があるため、交通誘導員を直接工事費に計上する変更がなされたが、市町村ではそれが改善されていない。また、現場管理費、一般管理費などの諸経費の見直しがされていない。

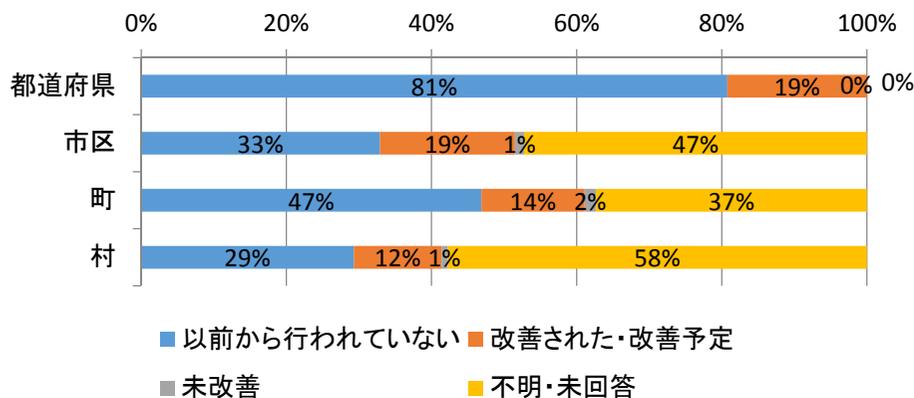
2. 予定価格の状況③

Q4 歩切りの状況はどのようになっていますか？

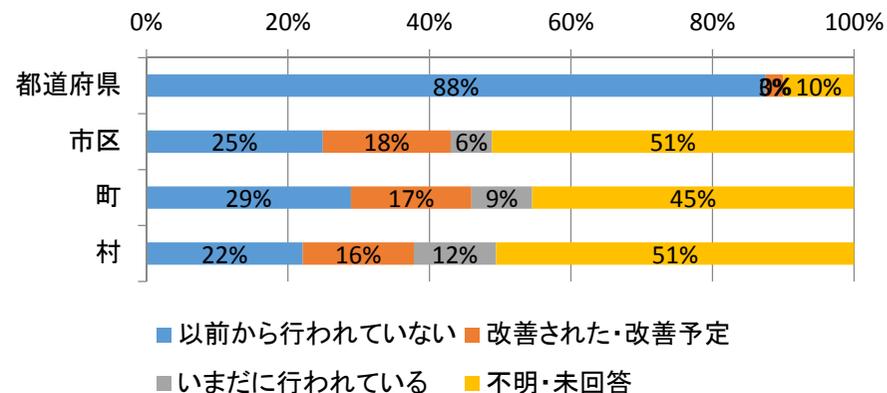
○都道府県は、全ての回答が「以前から行われていない」「改善された」となり、歩切りの廃止が確認できる内容となっている。

○一方、市区町村では、それぞれ前年と比較して改善が進んでいるものの、「未改善」とする回答が僅かに見られた。

【H28】



【H27】



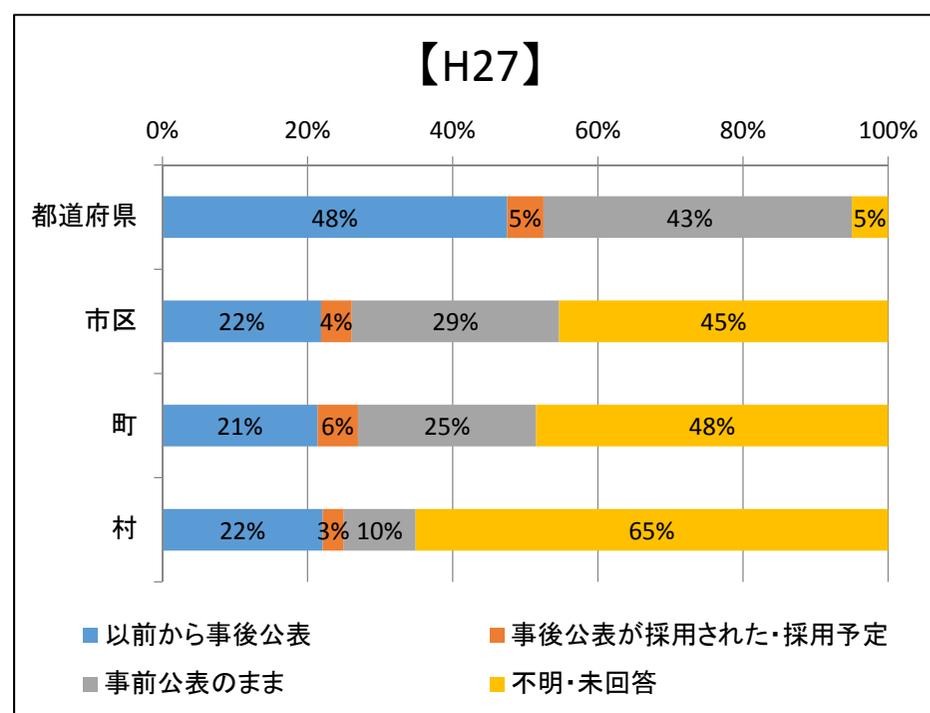
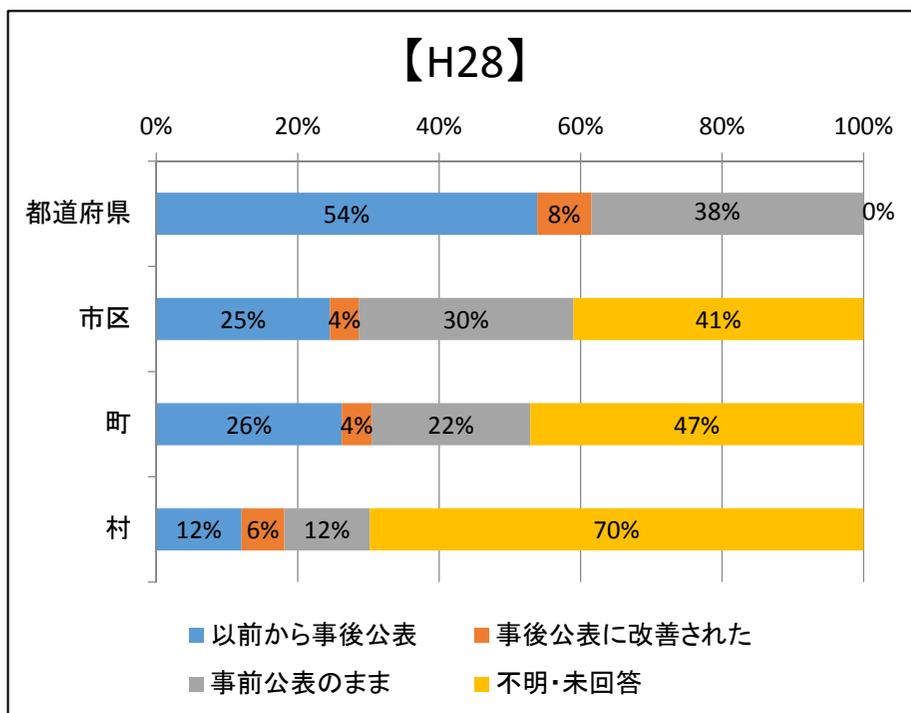
(改善内容、意見等)

・一部の市区町村では、予定価格のカットは行っていないが見積りの段階で単価を落としている。歩切りの定義を予定価格のカットとするならば行っていないかもしれないが、見積り段階でカットされてしまえば、結果的に歩切りの継続と同じである。

2. 予定価格の状況④

Q5 予定価格の公表時期はどのようになっていますか？

○都道府県は、「事後公表」の割合が徐々に増えているものの、全体の6割にとどまる。
○市区町村でも、改善の動きはあるものの、「事後公表」の割合は約2割～3割程度。



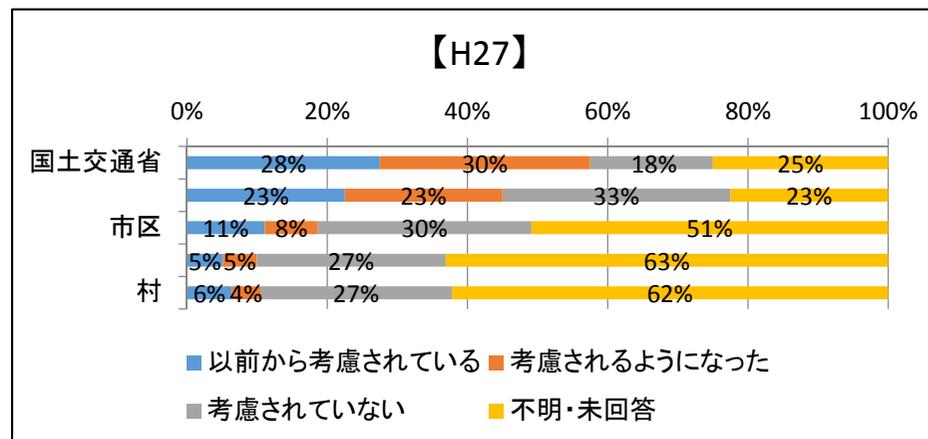
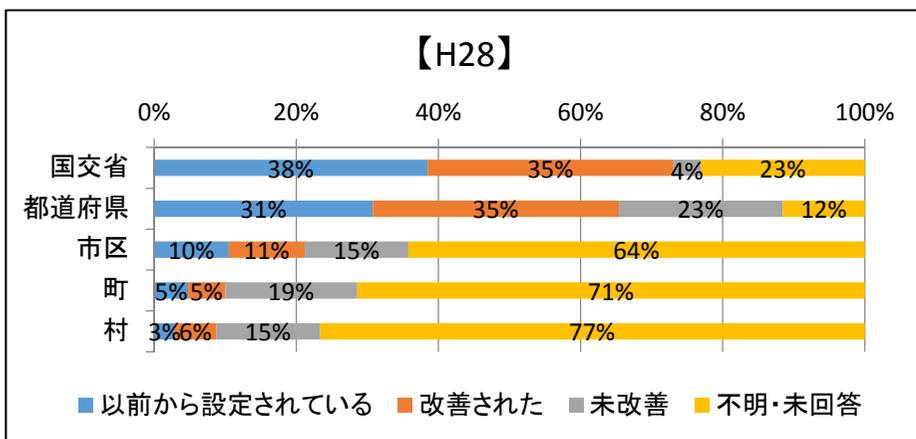
3. 工期設定について①

Q6 現場の諸条件などを踏まえた、適切な工期が設定されるようになりましたか？

○国土交通省は、「以前から設定されている」「改善された」の合計が7割以上となり、前年に比べ改善が進んでいる。

○都道府県でも、「以前から設定されている」「改善された」の合計が7割弱となり改善が進んでいるものの、「未改善」とするものも2割以上ある。

○市区町村では、実施済・改善の割合は僅かにとどまっている。



(改善内容、意見等)

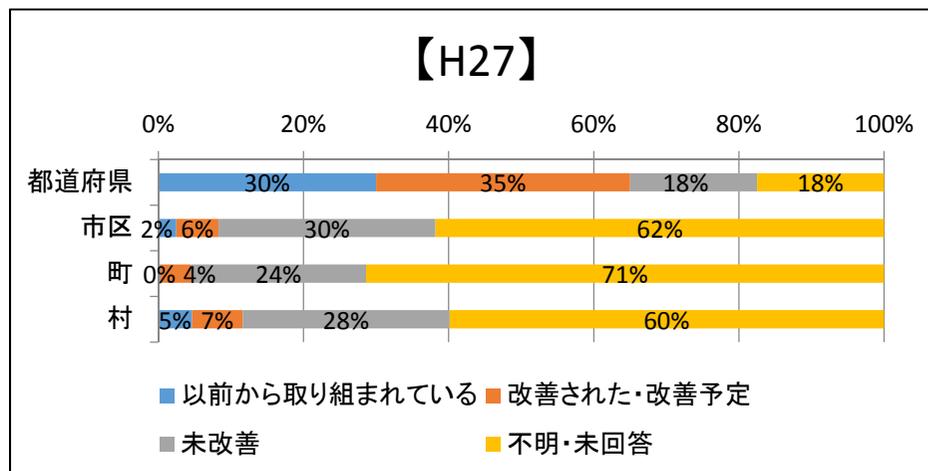
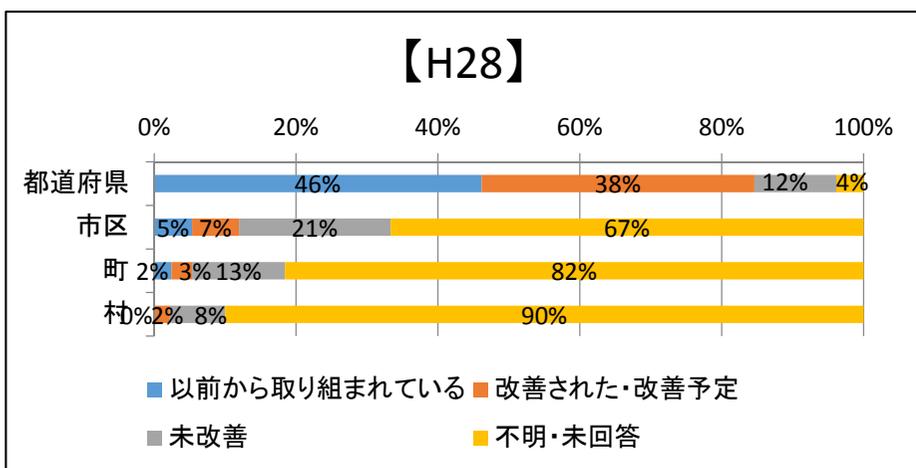
- ・3月末の工期設定が多いものの、繰越等の変更は極めて速やかに行われている。
- ・災害復旧工事においては、労務、資材確保(市場動向)に応じ、工期の緩和が可能になった。また、設計内容変更に伴う工期変更も考慮されるようになった。
- ・国土交通省が試行している完全週休2日実現モデル工事を受注しているが、他の発注機関もモデル工事の拡大に取り組んでもらいたい。完全週休2日制実現は、賃金引き上げがないと非常に難しいと思われる。

3. 工期設定について②

Q7 債務負担行為やゼロ債の活用などによる、発注時期や完成時期などの平準化に向けた積極的な取り組みが行われるようになりましたか？

○都道府県は、「以前から取り組まれている」「取り組まれるよう改善された」の合計が8割を超え、前年に比べ改善が進んでいる。

○一方、市区町村では、不明・未回答が多い中ではあるが、実施済・改善の割合は僅かにとどまっている。



(改善内容、意見等)

- ・債務負担行為工事は、大規模工事で複数年に跨ることが確実な案件に適応しており、その他は繰越を前提に発注されている。
- ・発注時期、完成時期の平準化への認識が足りない市町もある。なお、工事内容(河川、営農)によっては、平準化が厳しいと思われるものもある。
- ・町では案件数が少ないので平準化発注ができないと思う。また、年度繰り越しなどは相変わらず少ないと感じる。

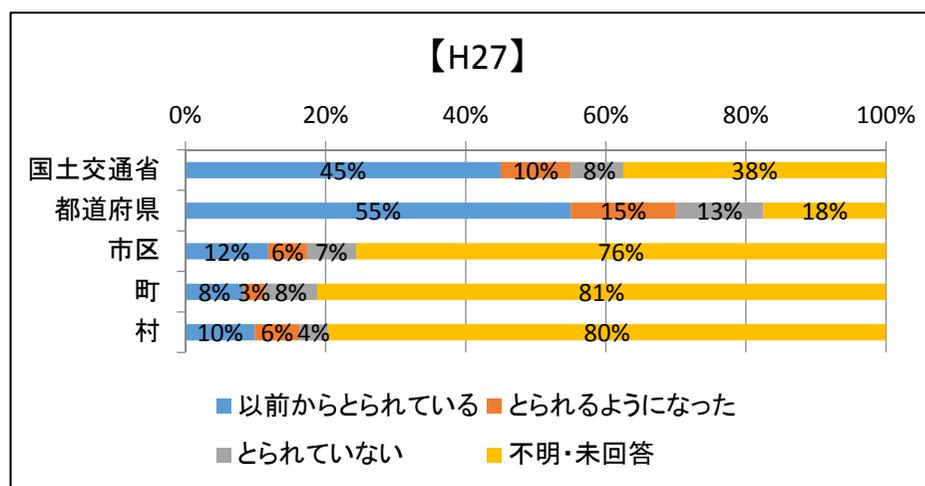
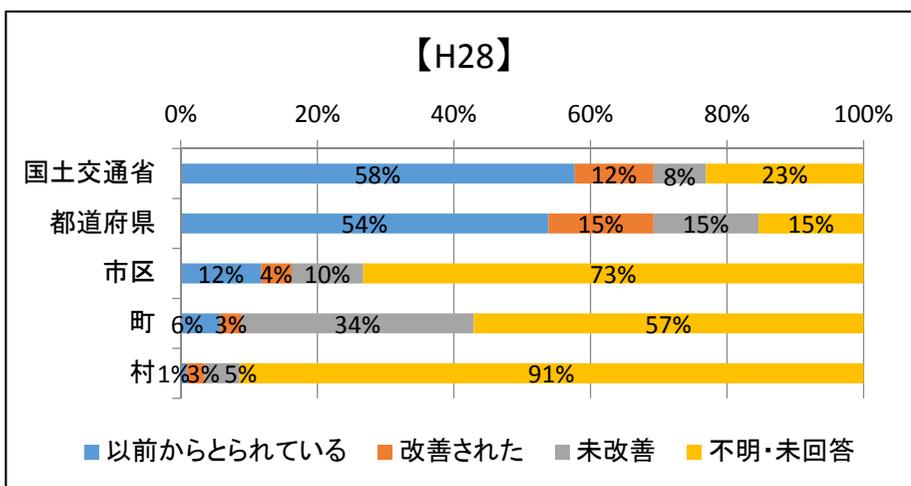
4. 入札不調・不落時の対応について

Q8 入札不調・不落時に、見積り活用方式などによる予定価格の見直しや随意契約の活用など適切な措置はとられるようになりましたか？

○国土交通省は、「以前からとられている」「改善された」の合計が7割となり、前年に比べ改善が進んでいる。

○都道府県は、前年とほぼ変わらない状況。

○市区町村は、実施済・改善の割合は僅かにとどまっている。



(改善内容、意見等)

・複数からの見積徴収により、予定価格が実勢価格に近くなった。

・入札不調、不落の大きな原因の1つは標準歩掛りを基準とした積算方式にこだわるため、現場条件により日当たり施工量が確保できない場合、受注しても赤字になってしまう。見積活用方式を積極的に採用して採算が取れる積算方式を取り入れていただきたい。

・工期や施工条件に問題があるため入札不調・不落となった工事を、既に契約済みの工事の設計変更として増工するよう施工者に指示する例が報告されている。

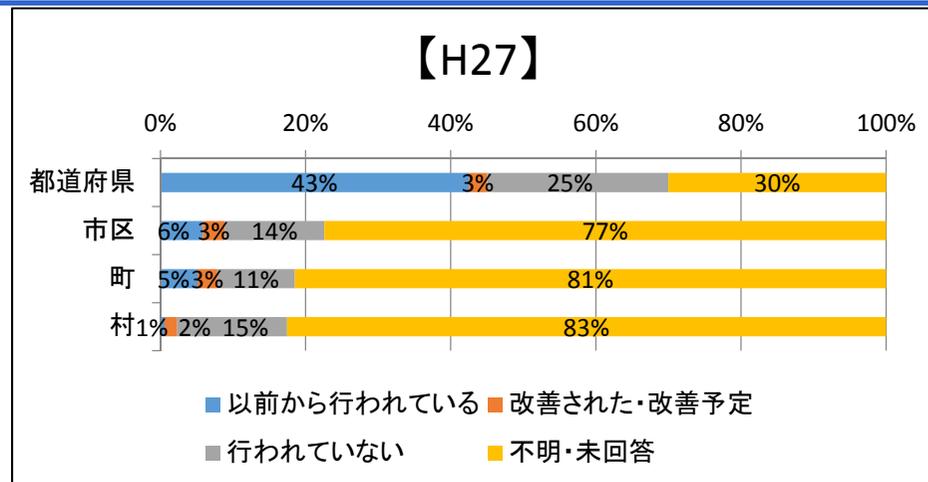
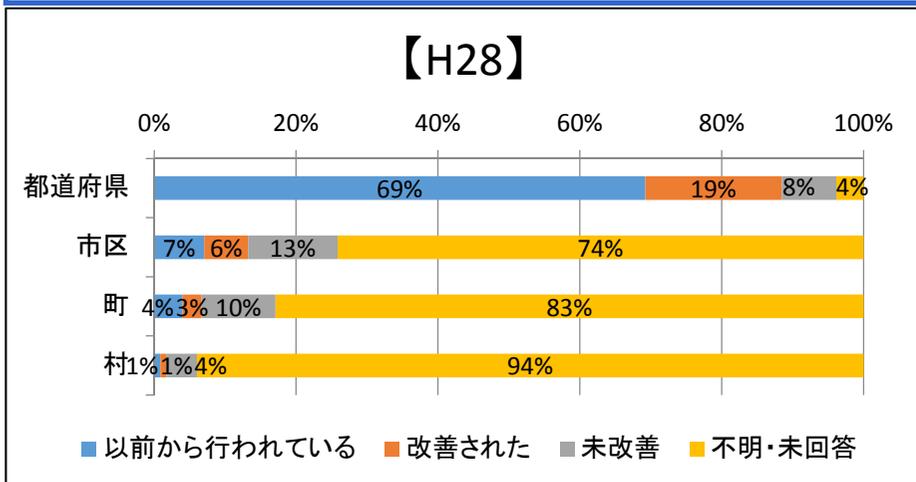


5. 発注者の体制について①

Q9 入札・契約手続きや監督・検査などに係る発注者の体制が十分に整備されるような施策(職員の育成、外部支援の活用など)がとられていますか？

○都道府県は、「以前から行われている」「改善された」の合計が9割弱を占め、前年に比べ大幅な改善がみられる。

○一方、市区町村では、不明・未回答が多い中ではあるが、前年同様、実施済・改善の割合は僅かにとどまっている。



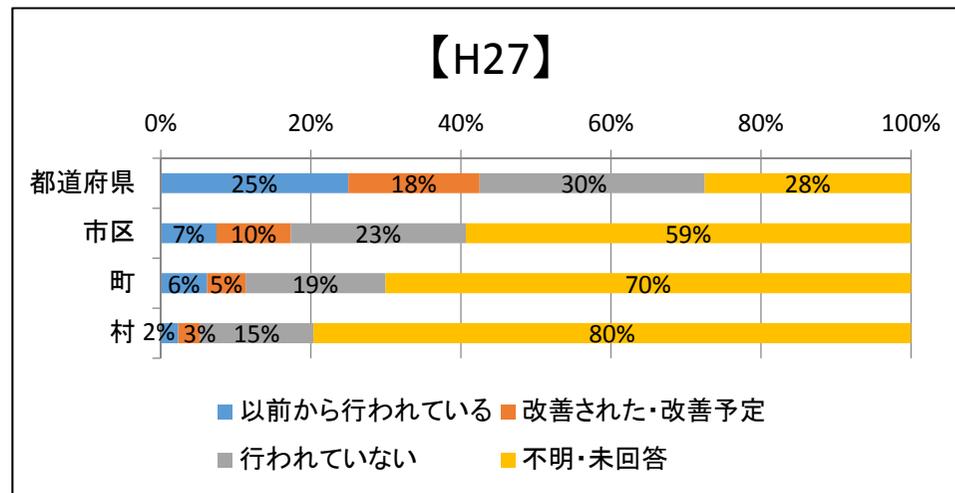
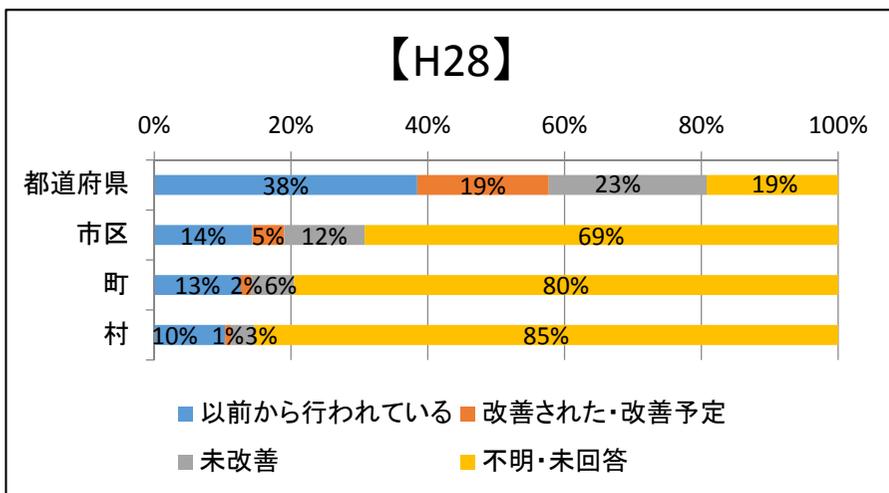
(改善内容、意見等)

- ・検査員が専任されてきて、検査体制がしっかりしてきた。また、外部や退職者の再雇用などの施策がなされている。
- ・設計事務所から技術員として補佐役がついたことはあったが、監督員の経験不足は否めない。
- ・県等が開催する技術研修会への参加により、技術力の向上は図られているものの、設計変更に係る対応は十分でないと思われる。
- ・監理を設計事務所等に委託している工事では、打合せ回数が少ないうえに詳細な内容が発注者に伝わらないことから、判断、指示に時間を要し、工事進捗に支障をきたしている。

5. 発注者の体制について②

Q10 地域の発注者間で、情報交換や連絡・調整、共通課題への対応など発注関係事務の適切な実施のために連携を図るような施策がとられていますか？

○都道府県は、「以前から行われている」「改善された」の合計が6割弱となり、前年に比べ改善が進んでいる。



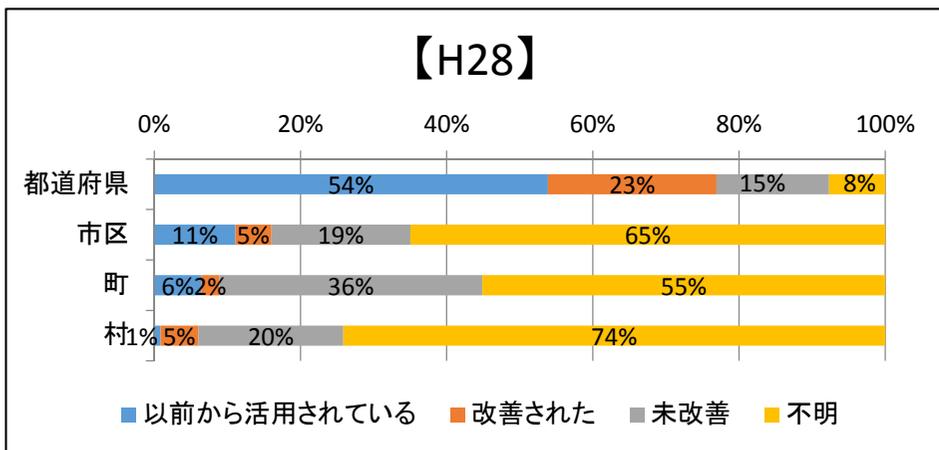
(改善内容、意見等)

- ・市発注の造成工事の残土を県及び道路公社発注の道路改良工事へ有効活用されているが、相互の工程調整は難しい。
- ・県と市町の担当者が集まる発注者協議会等の回数は増えているようだが、実質的な改善があったという話は聞かない。

6. 適切な入札契約方式の選択・活用について

Q11 工事の性格や地域の実情、発注体制などを踏まえた、適切な入札契約・総合評価方式が選択・活用されるようになりましたか？

○都道府県は、「以前から活用されている」「改善された」の合計が8割弱を占めている。
○一方、市区町村では、実施済・改善の割合は低く、未改善の割合も一定数見られる。



※H27調査なし。

(改善内容、意見等)

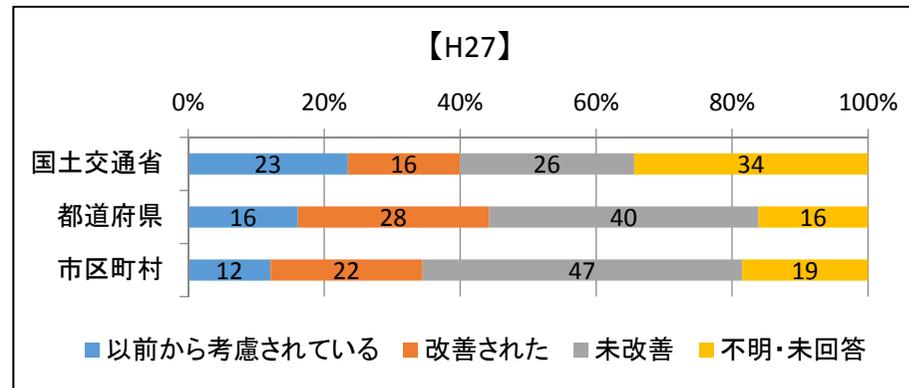
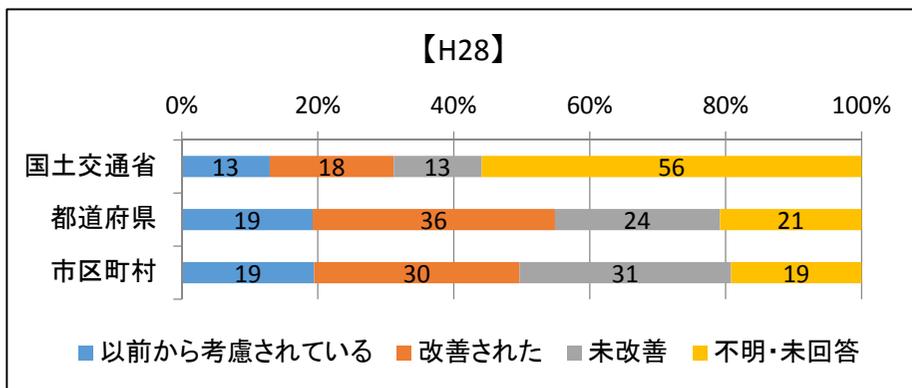
- ・震災などで緊急を要した場合の対応は、市町村に会社のある建設会社が必要になるので、特に市町村の発注工事は地域性に重点をおいた発注が望ましいと思われる。
- ・総合評価落札方式を活用した入札案件が増加している。総合評価落札方式を活用した上位ランク工事の発注において、市外業者は経営規模が大きく企業評価点等が高いことから、市内業者は適正価格を下回って応札しても受注できない状況にあり、市内業者に係る受注機会の確保や育成支援のため、何らかの優遇措置が必要不可欠である。
- ・発注者の都合に合う発注形態を採用される事が多く、市町では総合評価の採用率は低い。

調査結果 II. 会員企業からの回答

1. 工期設定について①

Q1 現場の諸条件などを踏まえた、適切な工期が設定されるようになりましたか？

- 国土交通省は、不明・未回答が多い中ではあるが、改善の割合に大きな変化はない。
- 都道府県は、「以前から考慮されている」「改善された」の合計が5割を超え、前年に比べ改善が進んでいるものの、「未改善」とするものも2割強ある。
- 市区町村でも、実施済・改善の割合が増え、「未改善」の割合が縮小はしているが、依然として3割強ある。



(改善内容、意見等)

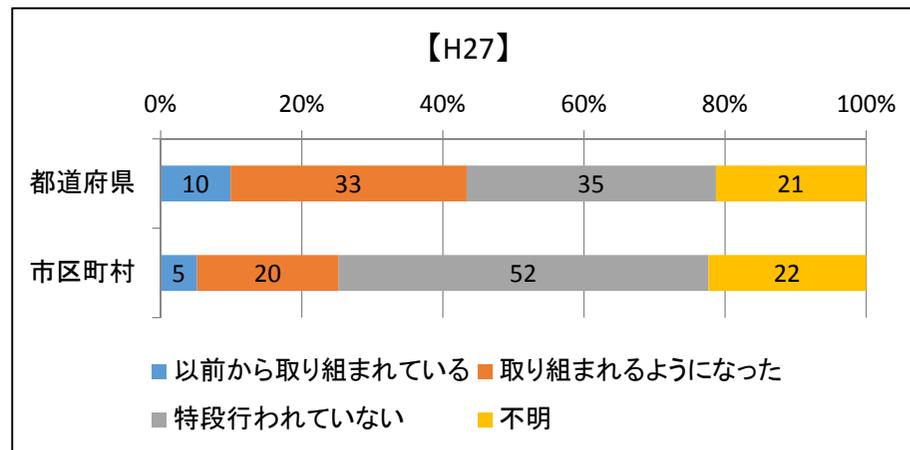
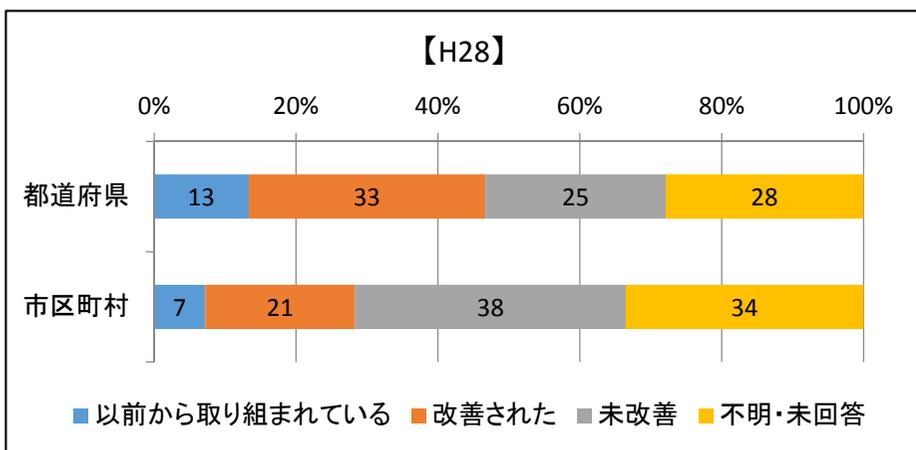
- ・国土交通省は4週6休、夏季年末年始休暇、天候などの影響も見込まれた不稼働率で設定されている。県、市町村も特記仕様書には記載されているが、天候などの影響もあり休めていない。また、予算の性質上繰越できない工事は年度末に工期を設定されている。
- ・完全週休2日制度の試行やフレックス工期等、前向きな取り組みがなされつつある。ただし、この場合のコスト増(発注単価の増額)に対する対応が課題である。
- ・4週6休はリース機材等の借用期間が延びるため、実際には無理な状況。

1. 工期設定について②

Q2 債務負担行為やゼロ債の活用などによる、発注時期や完成時期などの平準化に向けた積極的な取組みが行われるようになりましたか？

○都道府県は、「以前から行われている」「改善された」の合計が5割弱で、前年とほぼ変わらず。

○市区町村についても、前年とほぼ変わらず、実施済・改善の割合は3割弱にとどまっている。



(改善内容、意見等)

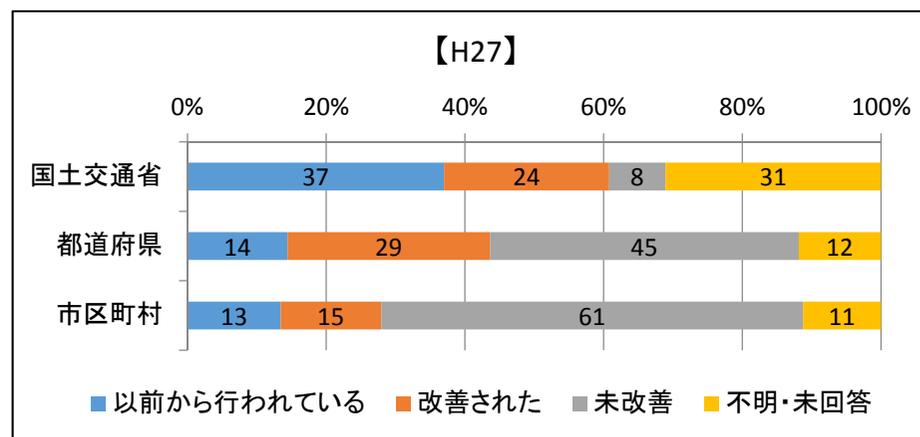
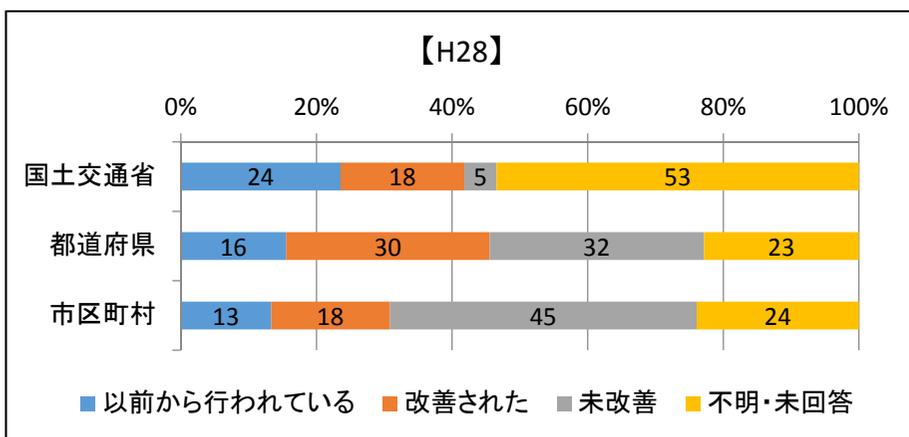
- ・国土交通省で指導しているゼロ国債等を利用した早期発注、平準化により当地域の天候影響を受ける事が少なくなり、工程のフォローアップが可能となってきた。
- ・工期設定に配置技術者等の余裕期間が設定された。また、全ての工事では無いが、準備期間も設定され計画について詳細に行うことが可能になった。
- ・発注時期が前倒しされ、第4四半期の発注予定が少なくなった。年度を跨ぐ工期の延期が簡単に行われるようになった。
- ・相変わらず4～5月にかけて発注件数が少ない。6月以降に集中するために配置技術者の不足や配置計画ができない。

2. 契約変更について①(三者会議など)

Q3 三者会議(発注者、施工者、設計者)などの活用により、受発注者間での情報共有は行われていますか？

○国土交通省は、不明・未回答が多い中ではあるが、都道府県、市区町村に比べ「未改善」の割合は低い。

○都道府県、市区町村では、ともに「以前から行われている」「改善された」の合計が僅かに増加しているものの、「未改善」の割合が3~4割と多い。



(改善内容、意見等)

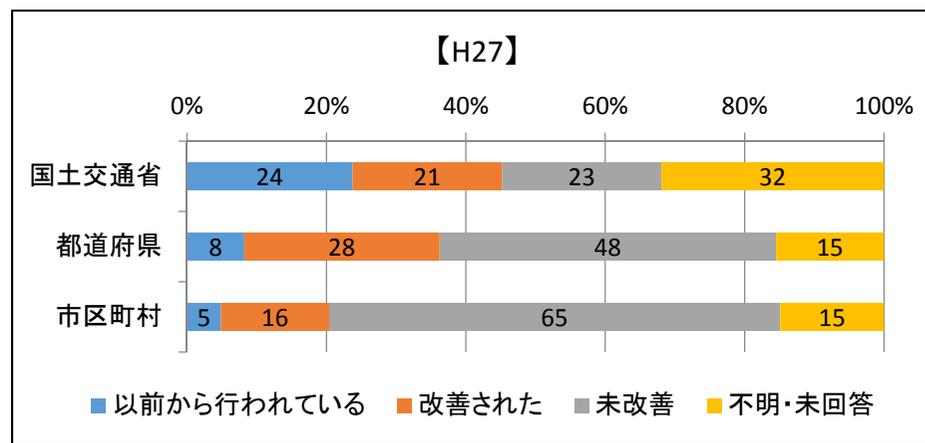
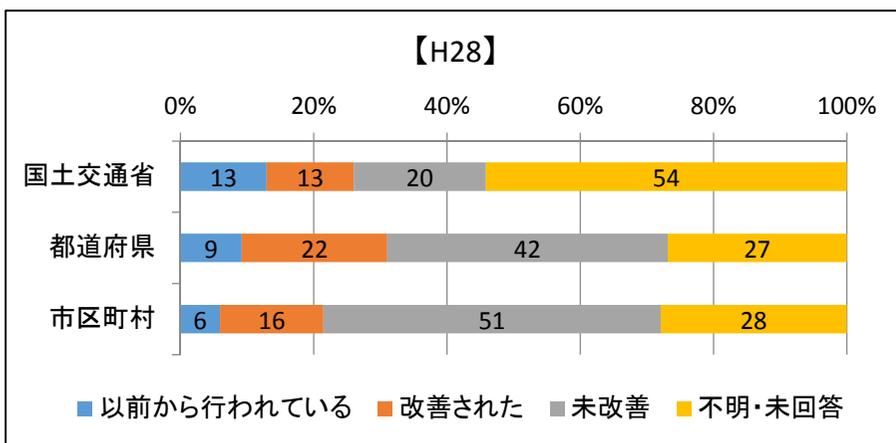
- ・受注者の調査結果から工事内容を変更する機会が多く、情報共有は進んでいる。しかし、調査結果に基づいて施工提案するため、本施工の着手まで期間を要することとなっている。
- ・市町村や民間工事では三者会議が行われていない。是非、どのような小さな工事でも、設計思想等が理解できるように、三者会議を開催してもらいたい。
- ・三者で打ち合わせる機会は確実に増えている。施工者と設計者が直接話すことにより、問題解決の時間が縮まった。
- ・発注機関、担当者レベルで大きな差があると感じている。工事の内容にもよるが、原則全現場行うように徹底願いたい。

2. 契約変更について②(ワンデーレスポンスなど)

Q4 ワンデーレスポンスなどの活用により、迅速な対応が行われていますか？

○国土交通省は、不明・未回答が多いものの、「未改善」の割合が高い。

○都道府県、市区町村では、「以前から行われている」「改善された」の合計が都道府県で3割、市区町村では2割にとどまり、いずれも「未改善」の割合が依然として高い。



(改善内容、意見等)

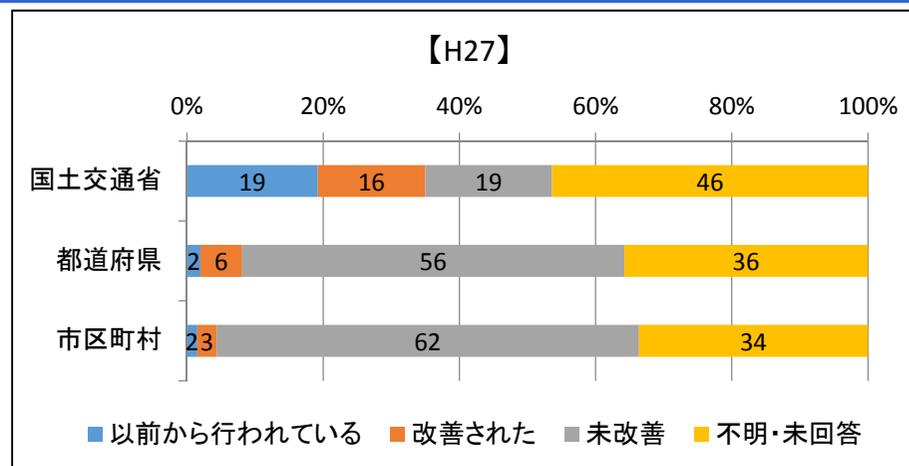
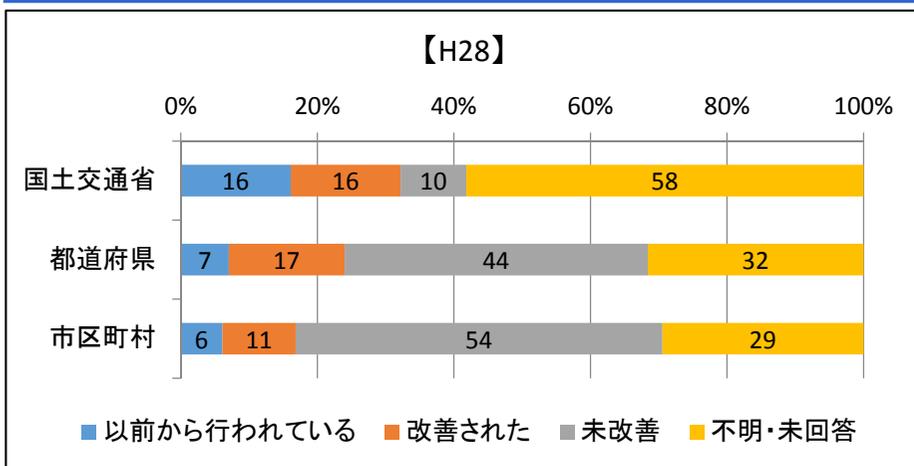
- ・国土交通省は、上席者が関与してくれることにより協議内容の回答が比較的早いと感じられる。地方公共団体になると、内容によっては、協議に対する回答が遅かったり、協議そのものを受け付けないなど、未だに改善されていない。
- ・情報共有を含めた対応で担当者によって力量の差が大きい。良い担当者は改善されているが、そうでない担当者は改善されていない。
- ・各行政機関ともワンデーレスポンス開始当初は、回答時期等を具体的に回答してもらえたが、時間が経つにつれレスポンスが低下し、前の状況に戻りつつある。
- ・最近、情報共有システムを使っの、打合せ・協議が行われるようになったが、何日間もシステムを確認してもらえないことがある。

2. 契約変更について③(設計変更審査会など)

Q5 設計変更手続きの迅速化、透明性の確保などのために、受発注者が集まり協議する会議(設計変更審査会など)は行われていますか？

○国土交通省は、不明・未回答が多いものの、「未改善」の割合は低い。

○都道府県、市区町村は、ともに「以前から行われている」「改善された」の合計が前年に比べ増えてはいるものの、都道府県で4割以上、市区町村で5割以上が「未改善」のままである。



(改善内容、意見等)

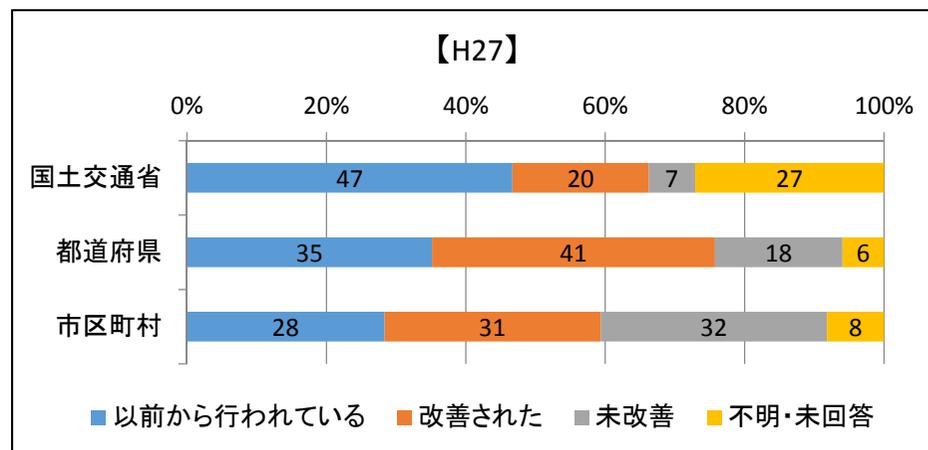
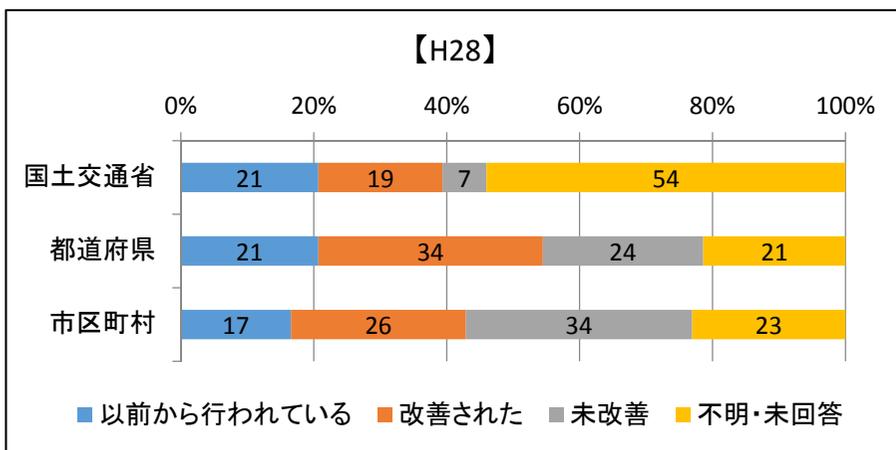
- ・発注者と協議を重ねながら設計変更を進めているが、審査会という形式ではない。できれば受注者が参加できる設計変更審査会の場を作っていただきたい。
- ・設計変更審査会実施後、追加資料の請求が多く、決裁に時間を要する場合がありますので、改善してもらいたい。
- ・市町村では、設計変更に係る指示書を作成することを嫌がる監督員が未だに多いので、透明性が確保されているとは感じない。

2. 契約変更について④(必要な契約変更の実施)

Q6 施工条件の変化などに伴う、必要な変更契約が行われていますか？

○国土交通省は、不明・未回答が多いものの、「未改善」の割合は低い。

○都道府県、市区町村は、ともに「以前から行われている」「改善された」の合計が前年に比べ縮小し「未改善」の割合が増えるなど、実施状況が不安定であると思われる。



(改善内容、意見等)

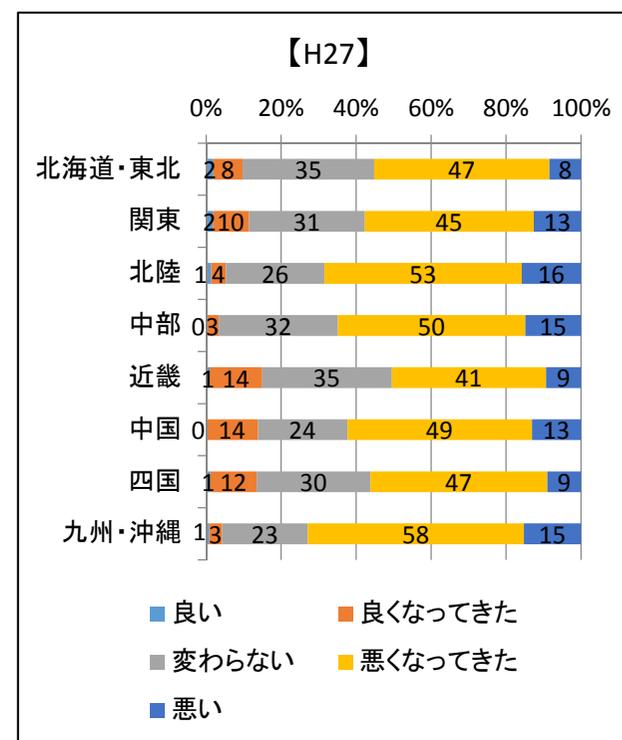
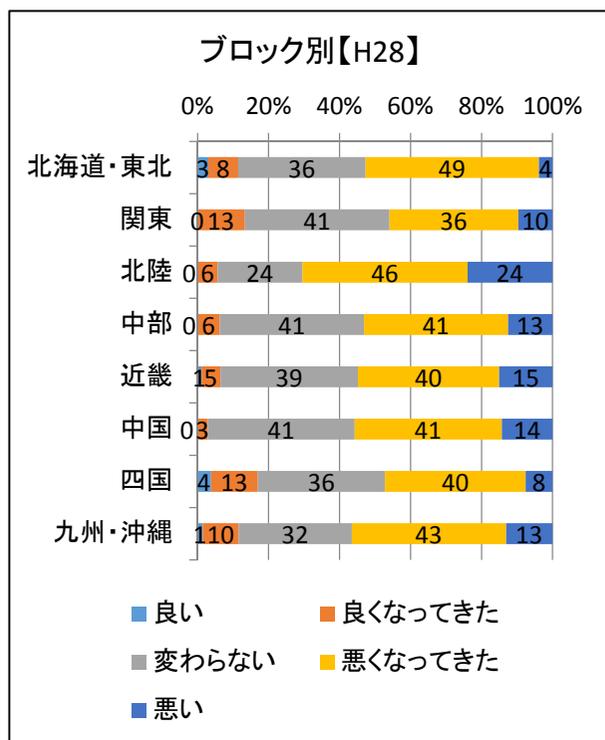
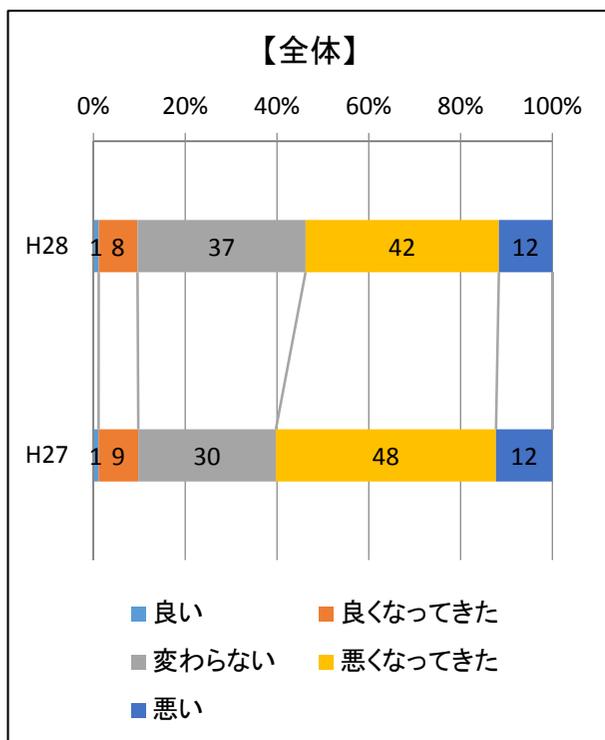
- ・県においては、国土交通省に準拠する形で設計変更ガイドラインが制定されたが、運用上改善はまだみられない。また、市町村においては未策定であり、数量変更程度の設計変更しか行われていない。
- ・変更契約金額が工事金額に対する割合で上限があり、実際の変更増額が認められないケースがあった。変更増工分については所要金額を認めてほしい。
- ・国土交通省では、設計変更ガイドラインに基づき適正に行われ、「付加的業務」においては対価も支払われる(対価については、実際と乖離している場合もある)。県については、ガイドラインはあるが、担当者に格差があり、適切な契約変更が行われない場合がある。市については、ガイドラインもない。

3. 会員企業の現況①(受注状況)

Q7 平成27年度の同時期に比べて、受注の状況はどのようになっていますか？

○全体で見ると、前年に比べ「良い」「良くなってきた」とする割合は変わらず、合計で1割程度であるのに対し、「悪い」「悪くなってきた」とする割合は、若干縮小したとはいえ、5割強となっている。

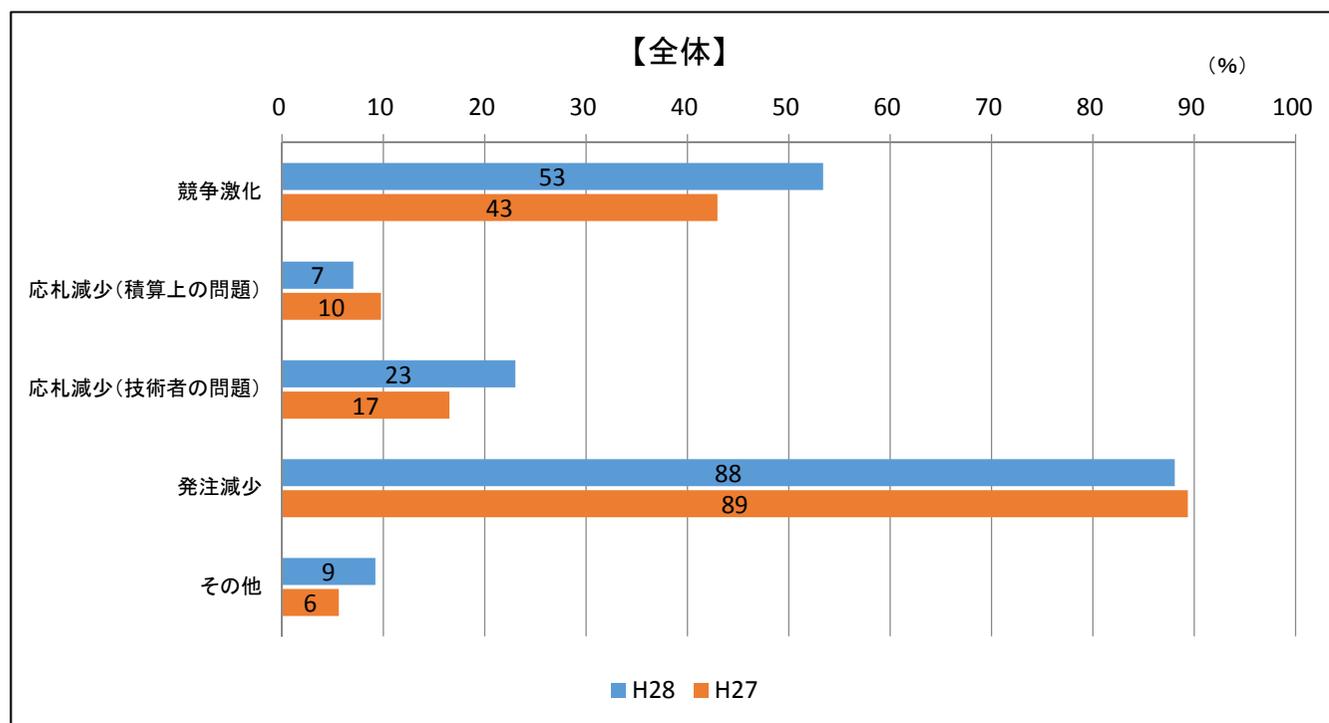
○ブロック別では、特に北陸で「悪い」「悪くなってきた」とする回答が7割となっている。



3. 会員企業の現況②(受注の悪化要因)

Q8 受注の状況が悪化傾向にある主な要因は何ですか？(該当するものすべて)

○受注悪化の要因については、前年と比較して全般的な傾向に変わりはなく、「発注減少」が最も多い。項目別では「競争激化」が10ポイント、「応札減少(技術者の問題)」が6ポイント上昇している。

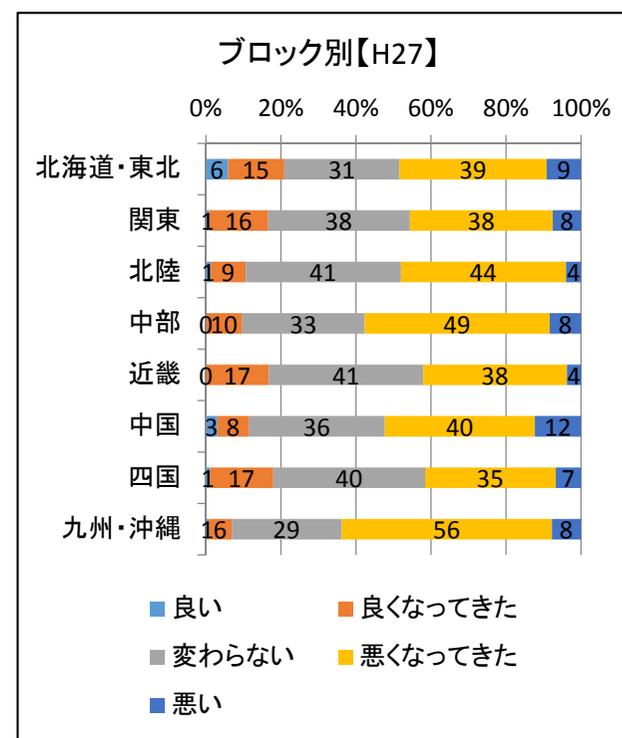
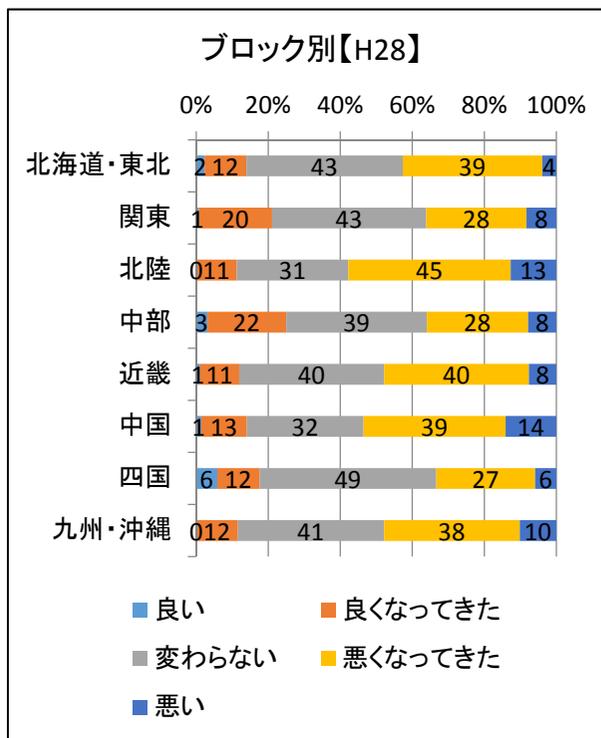
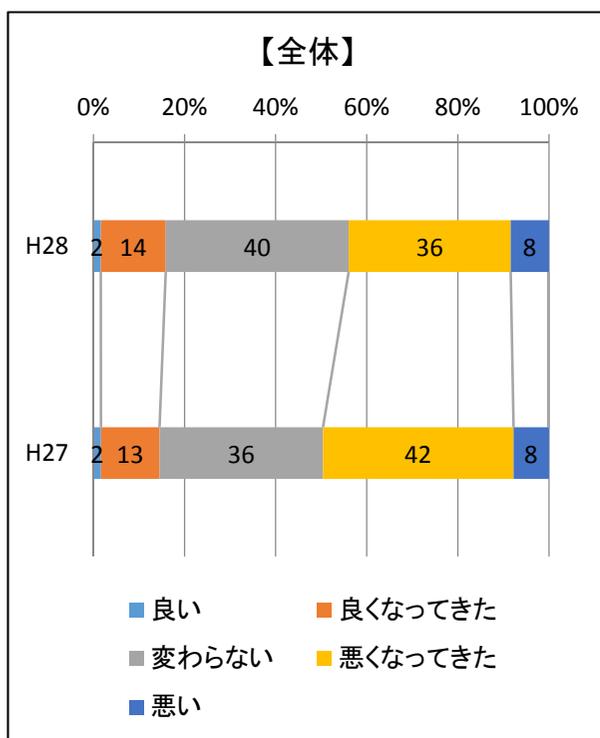


3. 会員企業の現況③(利益の状況)

Q9 前期決算と比べて、利益の状況はどのようになっていますか？

○全体で見ると、前年と比べ「良い」「良くなってきた」とする割合は変わらず、合計で15%程度。また、「悪い」「悪くなってきた」とする割合が6ポイント縮小しているものの依然として4割以上となっている。

○ブロック別では、北陸で悪化傾向が見られる。

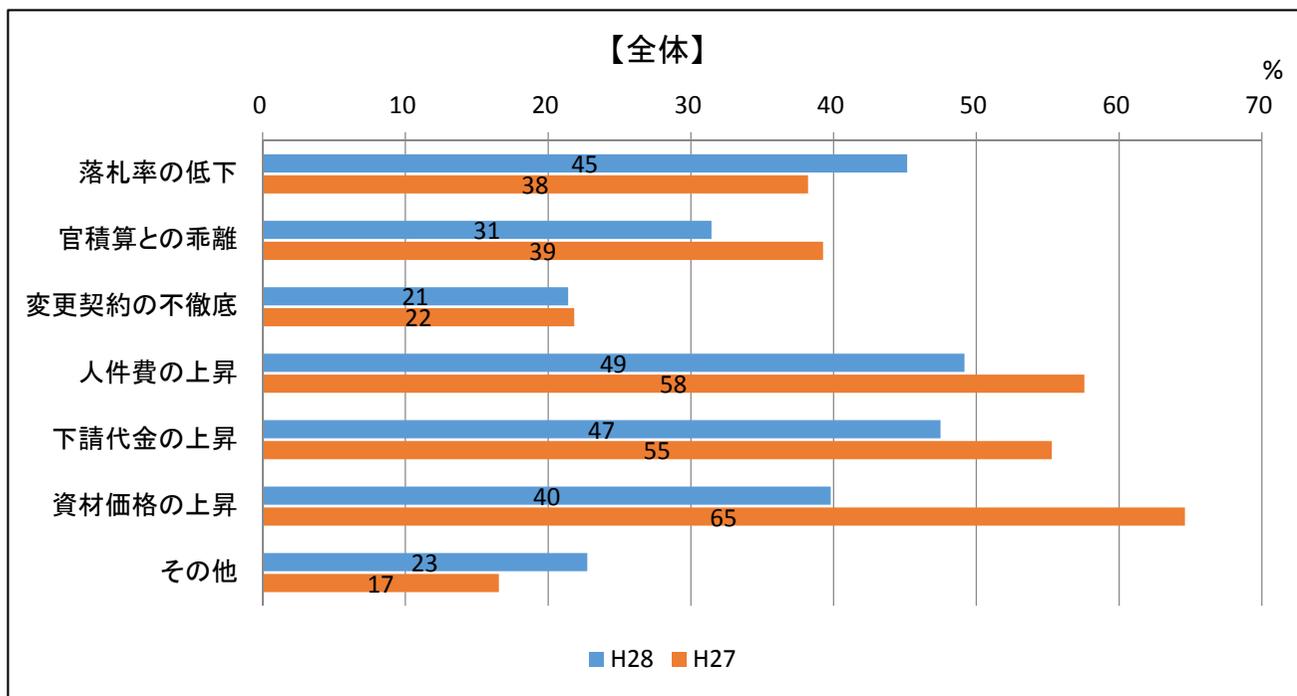


3. 会員企業の現況④(利益の悪化要因)

Q10 利益の状況が悪化傾向にある主な要因は何ですか？(該当するものすべて)

○利益状況の悪化要因については、多い順に「人件費の上昇」、「下請代金の上昇」、「落札率の低下」となっている。

○前年に比べ、「資材価格の上昇」を挙げる声が大きく減少し、「落札率の低下」が増えている。

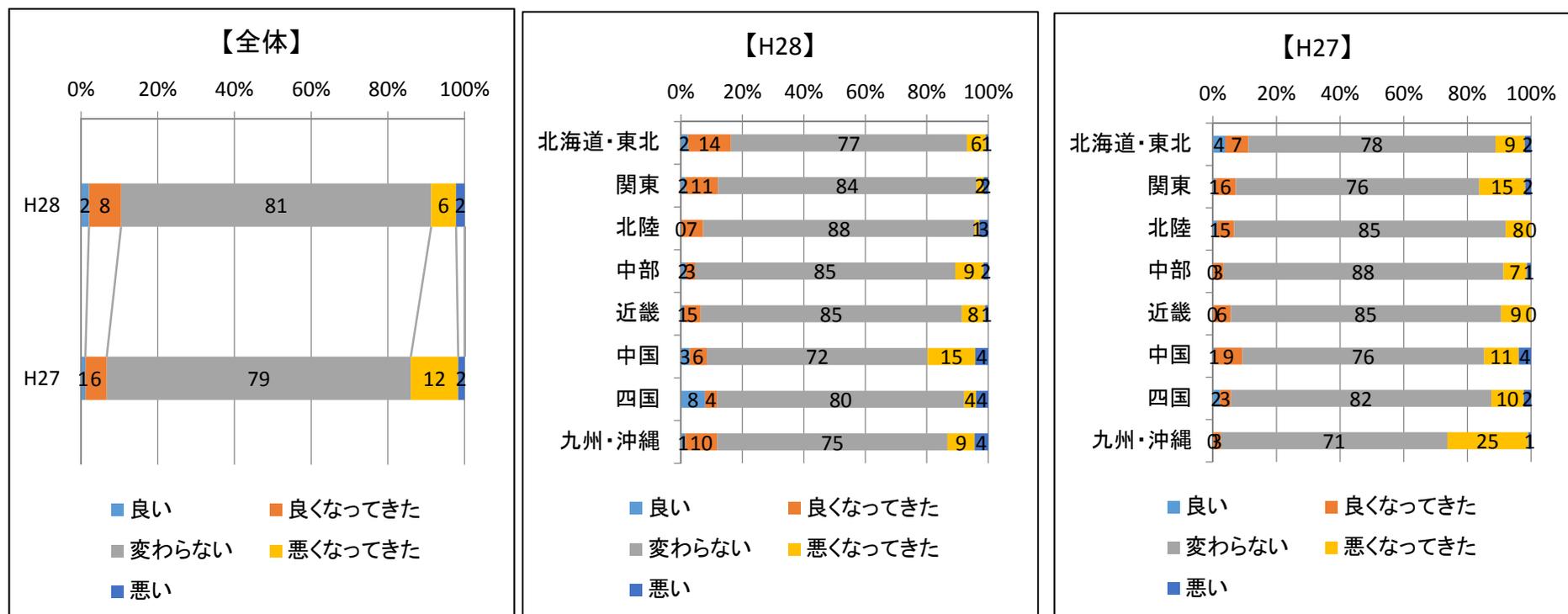


3. 会員企業の現況⑤(資金調達状況)

Q11 前期決算と比べて、資金調達状況はどのようになっていますか？

○資金調達については、「変わらない」とする声が全体の8割を占めており、状況に変化なし。前年と比較すると、「良い」「良くなってきた」とする割合がわずかに増え、「悪くなってきた」とする割合が若干縮小している。

○ブロック別で見ても、すべてのブロックで7割以上が「変わらない」としている。

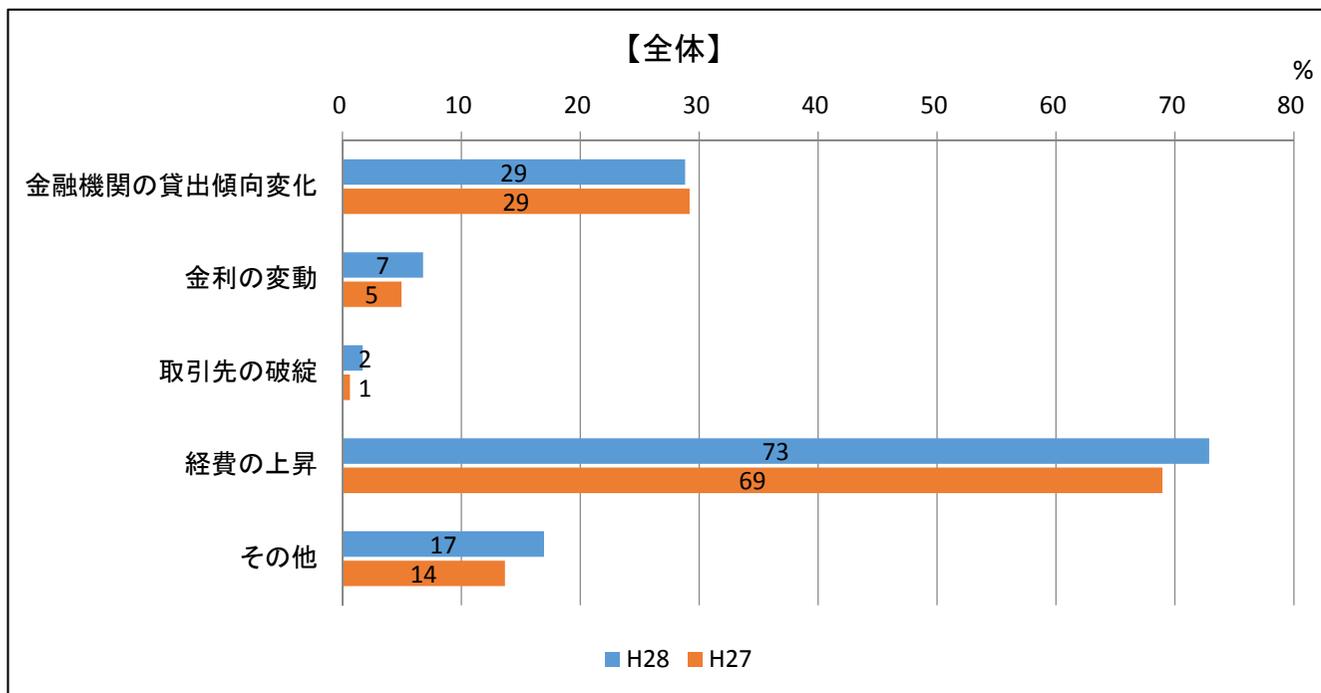


3. 会員企業の現況⑥(資金調達の悪化要因)

Q12 資金調達の状況が悪化傾向にある主な要因は何ですか？(該当するものすべて)

○資金調達の悪化要因については、対象企業の7割以上が「経費の上昇」を挙げており、次いで「金融機関の貸出傾向変化」が約3割となっている。

○前年との比較では、全般において大きな変化は見られない。



3. 会員企業の現況⑦(技術者・技能者の確保・育成)

Q13 処遇改善やOJT、OFF-JTの充実など、技術者・技能者の確保及び育成の取組みについてお聞かせください。

○技術者・技能者の確保・育成については、検討中を含め8割が何らかの取組みを行っている。また、前年との比較では、「積極的に取り組んでいる」、「取組むようになった」とも割合が増えており、「積極的に」に取り組んでいるのは5割以上になる。

○ブロック別で見ると、北海道・東北、関東、北陸、九州・沖縄で、以前に比べ「積極的に取組むようになった」とする割合が3割以上となっている。

